

現職教育・研究推進

(1) 目的

教育専門職としての自覚を持ち、自らの資質の向上に資することを目的に、児童の人間力を育み、一人一人を生かす（インクルーシブ）教育を推進するため、主体的に研修に努め、教育効果の向上を図る。

(2) 本年度の研究主題

言葉による見方・考え方を働かせる授業づくり

～国語科の説明的な文章教材の指導を通して～

(3) 主題設定の理由

本校においては、基礎学力の定着を図ることはもちろん、だれもが分かる喜びを味わうことができるよう、これまで「言語活動の充実とユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくり」「話す力・聞く力」に力点を置き、個に応じたきめ細かな指導に努めてきた。

その中で、考えをまとめ書き表したりする記述問題では、依然として課題が残っていたことから、基礎基本の定着に加え“自分の考えをしっかりと持ち、相手に伝える力”を身に付けていく取り組みが求められる。“自分の考えを持つ”ために、文中の言葉に着目し、その意味や働き、使い方などを理解・習得していく必要がある。これらの力をつけるために国語科における文学的な文章教材を中心に「言葉による見方・考え方を働かせる授業づくり」をテーマに指導方法の工夫・改善に取り組んだ。

この取り組みから叙述を意識して文を読み取る力がついてきた一方、語彙力の低さや読み取る力に差が見られたことから、言葉を意識させていく必要がある。

これらのことから、今年度より説明的な文章教材に焦点を当て、3部会で研究することをより明確にし、相互の関わり合いを深め、児童の学力向上と教員の指導力向上を目指していく。

(4) 児童に身に付けさせたい力

- ① 見通しを持ち、筋道を立てて考える力
- ② 叙述を基に、必要な情報を読み取り活用する力
- ③ 自分の考えや根拠を言葉や文字で伝える力

(5) 研究の視点

- ① 言葉の「見方・考え方」を働かせる授業づくり
- ② 主体的に学習に取り組むしかけづくり（発問・声かけ、学習活動、教材）
- ③ 自分の考えをまとめ、表現するための支援（UD・ICTの活用）

(6) 具体的な取組内容

- ① 国語科の説明的な文章教材の指導法の共有（発問を意識した学習計画の作成）
- ② 国語科における系統的な指導（説明文のわざ・こつ表の活用）
- ③ 「発問を意識した学習計画」に基づく一人一実践（互見授業、研究授業）
- ④ 「朝の学習」「夕焼けタイム」の時間を活用した、基礎的・基本的な学力の充実と定着
- ⑤ UD化チェックリスト・国語科スクリーニングテストの活用

(7) 研究計画

- ① 研究主題に沿った現職教育、随時必要に応じて行う現職教育
- ② 互見授業・研究授業・授業研究会
- ③ 計画的な部会の運営

月	実 施 内 容
4	○教育目標・教育方針の共通理解 ○研究計画立案 ○国語科スクリーニングテスト実施 ○研究推進組織編成・研究主題・主題設定の趣旨・研究の視点設定 ○年間指導計画作成 ○研究内容・研修方法の決定 ○校内研修「各調査問題実施に向けた共通理解」
5	○校内研修「UDの概要」 ○国語科スクリーニングテスト分析
6	○校内研修「授業研の学習指導案検討」 ○互見授業 ○校内研修「三部会の取り組み交流」
7	○校内研修「授業研・研究協議」 「授業実践や学級経営実践例の発表および意見交換」 ○校内研修「児童の実態把握」 ○互見授業 ○校内研修「三部会の取り組み交流」
8	○夏期校内研修①「研究主題に沿った研修」 ○夏期校内研修②「特別支援」 ○夏期校内研修③「ICT」
9	○互見授業 ○校内研修「授業研の学習指導案検討」
10	○校内研修「授業研・研究協議」 ○互見授業
11	○互見授業
12	○互見授業 ○校内研修「三部会の取り組み交流」
1	○校内研修「授業研の学習指導案検討」 ○互見授業 ○校内研修「授業研・研究協議」 ○国語科スクリーニングテスト実施
2	○互見授業 ○国語科スクリーニングテストまとめ ○校内研修「三部会の取り組みのまとめ（成果と課題及び次年度に向けて）」
3	○校内研修「児童の様子（次年度に向けて）」